

歴史トークショー

関西大学 大阪都市遺産研究センター
in ナレッジキャピタル

CGにみる大阪今昔

コンピューター・グラフィクス



見えない町が見えてくる!



▲大正期の道頓堀「カフェ・パウルスタ」復元CG

10/23～11/6の間、3階アクティブラボにて大正期道頓堀の復元CGの展示を行います。併せてご覧下さい。

日時：平成25年10月29日（火）14:00～16:00（受付開始 13:30～）

会場：ナレッジキャピタル・アクティブスタジオ
（大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪北館2階）

定員：50名（参加費無料）

主催：関西大学大阪都市遺産研究センター、VisLab OSAKA



開催にあたって

関西大学大阪都市遺産研究センターでは、都市「大阪」の景観変遷を研究しています。今回の催しでは、大阪のシンボルともいえる二つの景観、大阪城と道頓堀を、デジタル化技術を通してご覧いただきながら、歴史対談を行います。

1つは、オーストリア・エッゲンベルク城の「豊臣期大坂図屏風」。遠い異国で発見された屏風絵を手にするように隅々まで見るができます。もう1つは、今も多くの人びとで賑わう道頓堀。かつては芝居小屋が立ち並ぶ大人の社交場でした。約100年前、芝居の町だった大正期の道頓堀を3次元CGで再現します。

今では実際に見られないはずの大阪をCGで再現しながらの歴史トーク、どうぞお楽しみください。

プログラム

●第1部「豊臣期大坂図屏風」

宮本裕次(大阪城天守閣研究副主幹)

内田吉哉(関西大学大阪都市遺産研究センター
特別任用研究員)

●第2部 道頓堀

今井 徹(道頓堀商店会会長)

藪田 貫(関西大学大阪都市遺産研究センター長
／関西大学文学部教授)

▼大正期の道頓堀浜側復元 CG



関西大学大阪都市遺産研究センター in ナレッジキャピタル

歴史トークショー「CGにみる大阪今昔」

■参加申込方法

往復はがき・FAXまたはEメールにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、『歴史トークショー「CGにみる大阪今昔」申込』と明記して、関西大学大阪都市遺産研究センターまでお申込みください。後日、聴講券をお送りしますので、当日ご持参ください。10月23日到着分を締切とさせていただきます。なお定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。ご了承ください。

■申込・お問い合わせ（土・日・祝を除く、10:00～16:00）

関西大学大阪都市遺産研究センター 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学博物館内
TEL: 06-6368-0095 FAX: 06-6368-0092 E-mail: osaka-toshi@ml.kandai.jp

※頂いた個人情報は「歴史トークショーCGにみる大阪今昔」運営の目的以外での使用はいたしません。